

さいたま市立内谷中学校

# 学校だより

教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく

平成31年3月1日

〒336-0034 さいたま市南区内谷6-10-1 Ⅱ 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>



第458号

## 「節目(ふしめ)」 —柔軟で強い心—



竹

花言葉・・「高い目標」

校長 山浦 麻紀

「節目があるから竹は強い」という言葉があります。1日に1メートル近く成長することもある竹は、自分自身を支えるために節目を作り、雪が積もった時などは大きく「くの字」になりながら重みや強風に耐えることができます。私たちも同様に節目となる事柄を経験して成長するのだと思います。多くの節目を作りながら柔軟で強い心をもった人になれるよう努力していききたいものです。

3月、学校では本年度のまとめの季節、そして、別れの季節となりました。

学校にもいろいろな節目があります。行事や各学期がそれに当てはまりますが、大きな節目は年度末に訪れます。間もなく学年が一つ進み、1年生は先輩と呼ばれる立場、2年生は最上級生として学校を引っ張っていく立場になります。それぞれに1年間を過ごし、自分の節目を作りながら成長してくれています。

そして、3年生にとっての最も大きな節目は3月15日(金)の第37回卒業証書授与式です。大きな節目となる9年間の義務教育を修了する、自慢の内谷中学校の3年生の全員が、笑顔で颯爽と卒業して行って欲しいものです。

さて、昨日は公立高校の入試でした。本日は実技、面接(一部の高校)がおこなわれます。公立高校を受検する生徒のみなさんが、よい結果を得られるよう願っています。

1年生の未来くるワーク(職場体験)では、地元の多くの事業所等の方々に御協力や暖かい御配慮をいただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして生徒は働くことの意義や大変さを知るとともに、職業観を身に付けることができました。この経験が3年生での進路選択の大きなヒントとなったことと思います。

また、2年生は3月4日から館岩少年自然の家での2泊3日の自然体験(スキー教室)が始まります。インフルエンザ流行時期と重なり心配もありましたが、学級閉鎖を行うクラスもなく、元気に当日を迎えられる雰囲気、改めて保護者の皆様の愛に感謝いたします。きっと、雄大な景色を眺めることができたり、スキーの技術も上達したりした様子で満足そうに帰ってくる生徒を出迎えることができるとと思います。

今年度も残り僅かとなりましたが、保護者のみなさま、地域のみなさまには内谷中学校の教育活動に多大なる御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。